

<公認心理師読替可能な必要科目> 2010年度～2016年度入学生

	省令で定める科目名	対応する心理学科科目	条件
I	1 心理学概論	心理学概論A、心理学概論B	3科目以上
	2 臨床心理学概論	臨床心理学A	
	3 心理学研究法	心理学研究法特講	
	4 心理学統計法	心理統計学A、心理統計学B、心理統計学C	
	5 心理学実験	該当科目無し	
II	6 知覚・認知心理学	認知心理学A、認知心理学B	4科目以上
	7 学習・言語心理学	実験心理学	
	8 感情・人格心理学	パーソナリティ心理学	
	9 神経・生理心理学	該当科目無し	
	10 社会・集団・家族心理学	社会心理学A、社会心理学B、社会心理学C	
	11 発達心理学	発達心理学A、発達心理学B、臨床心理学F	
	12 障害者・障害児心理学	臨床心理学C	
III	13 心理的アセスメント	臨床心理学D	13、14、23、24から2科目以上
	14 心理学的支援法	臨床心理学B、臨床心理学E	
IV	15 健康・医療心理学	健康心理学A、健康心理学B	2科目以上(15をVに充てた場合は、16から19から2科目以上を履修する)
	16 福祉心理学	現代社会と福祉、臨床心理学D	
	17 教育・学校心理学	教育心理学A、教育心理学B、学校心理学A、学校心理学B	
	18 司法・犯罪心理学	該当科目無し	
V	19 産業・組織心理学	該当科目無し	20又は21 (15を充てることも可能)
	20 人体の構造と機能及び疾病	該当科目無し	
	21 精神疾患とその治療	該当科目無し	
	22 関係行政論	該当科目無し	
III	23 心理演習	心理学実習C(検査法)、心理学実習D(面接法)	13、14、23、24から2科目以上
	24 心理実習(80時間以上)	該当科目無し	

※V(20又は21)について、該当科目がありませんが、15を履修したことにより20又は21を履修したとみなせます。その場合、15はIVの科目としてはカウントできませんので注意してください。

※臨床心理学Dは、13または16のどちらかの科目としてカウントすることができる。13と16の両方にカウントすることはできない。